

事業名称：タジマダンスフェス（フェス&但馬ダンスツアー）

団体名：但馬ダンスフェス実行委員会

1 事業内容

事業の名称 タジマダンスフェス

日時 令和7年11月26日(水)～11月30日(日)

場所 出石永楽館、さんとう緑風ホール、朝来市内こども園・小学校・福祉施設ほか

内容 ニュージーランドから世界トップクラスの講師3名を招き、ダンスを通じた多世代・多文化交流イベントを開催。学校・施設訪問、ワークショップ、本公演、交流会(アフターパーティー)を実施しました。

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
6月16日	全体会議	オンライン	5人
6月30日	実施内容精査、関係団体との調整	オンライン	7人
7月7日	実施内容精査、関係団体との調整	オンライン、各打合せ場所	5人
9月8日	実施内容精査、関係団体との調整	オンライン、各打合せ場所	5人
10月6日	実施内容精査、関係団体との調整	オンライン、各打合せ場所	5人
10月27日	実施内容精査、関係団体との調整	オンライン、各打合せ場所	5人
11月10日	実施内容精査、関係団体との調整	オンライン、各打合せ場所	5人
11月17日	実施内容精査、関係団体との調整	オンライン、各打合せ場所	5人
11月23日	講師との打ち合わせ 出発前最終確認	オンライン	9人
11月26日	講師との打ち合わせ・WS 内容製作	FOCUS DANCE STUDIO	6人
11月27日	やなせこども園訪問、WS 作品創作準備	やなせこども園、FOCUS DANCE STUDIO	約85名
11月28日	梁瀬小学校5・6年生訪問、朝来市シルバー人材センター訪問	梁瀬小学校、与布土小学校	役150名
11月29日	タジマダンスフェス in 出石永楽館	出石永楽館	約300名
11月30日	アフターパーティー	さんとう緑風ホール	約230名
12月1日	関係各所と打合せ(全体の反省)	FOCUS DANCE STUDIO	12月1日
1月26日	全体会議	オンライン	12月中旬まで
2月14日	全体会議、次年度企画、報告書類作成	FOCUS DANCE STUDIO	5人
2月28日	全体会議、報告書類の確認共有	FOCUS DANCE STUDIO	5人

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

世界のトップダンサーと協働を続けて3年目となり、運営メンバーの企画力や国際感覚が向上。継続により、強いつながりが但馬〜ニュージーランド間で確立され、より密な協力体制を築くことができた。また、地域住民との協力体制も継続により強化され、次年度以降の活動継続への自信につながった。

(2) 地域への波及

幼児から80代まで幅広い世代が「ダンス」を共通言語に交流。特に、英語での自発的なコミュニケーションや、外国籍住民がステージに立つ演出により、地域の多文化共生への理解が深まった。中には前回会ったことを覚えていて、楽しみにしてくれていた小さな子どもたちや、手作りのプレゼントを持参し、交流を深める地域住民も多く、地域のみなさんにとっての「楽しみ」となる事業として成長していると感じた。

3 協働の相手方

梁瀬地域自治協議会、朝来市シルバー人材センター、地元ダンススタジオ・ダンスチーム各所、各自治体の教育委員会、但馬全域のALTのみなさま、あさご日本語教室等

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

今回生まれた「学校や地域、チームを越えた繋がり」を絶やさないよう、SNS等での発信を継続し、定期的なミニWSの開催継続。

補助金に頼らず、活動を継続できるようスポンサー（仲間）を増やしていくための広報活動の継続。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

ダンスだけでなく、講師のルーツ（文化・家族観）を紹介する講演会を併設したことで、普段ダンスに触れない層も参加しやすくなり、「無料」であることツアー型式で主催側が「訪問」する形式をとることで、参加される方の心理的・物理的ハードルが低くなった。今後も「交流」を主軸に、このような工夫を継続していくことと、今回断られてしまった但馬北部の教育機関との連携を強めていきたい。



R7/11/27 養父体育館



R7/11/28 アイティ



R7/11/28 梁瀬小学校



R7/11/29 出石永楽館